がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３４０号
令和５年４月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F兼）29-2955

末崎のまちづくり その1

はじめに、大船渡市が求める**「協働まちづくりについて」**末崎地区まちづくり推進員の末崎地区公民館長新沼眞作が説明した。

1 なぜ、いま、「まちづくり」なのか

背景

（1）人口減少と少子高齢化

（2）住民の価値観の多様化によるライフスタイルの変化

（3）震災の影響により急激な人口移動などにより、地区コミュニティが大きく変化していることが挙げられる。

2 地区と行政の変化

（地区）

（1）若い世代の市外流出による担い手不足

（2）従来からの人と人のつながりの希薄化

（3）住民同士の互助機能の低下

これまで、地区や地域が行ってきた行事や事業の継続、課題への対応が困難となる。

（行政）

（1）税収の減少、職員数の減員、医療費や扶助費の増加

（2）複雑化する住民ニーズへの対応に限界

このままでは、地区・行政共に現在と同じ活動を継続することが困難となる。今から地区と行政が協働し、誰もが安心して生活し続けられる地区づくりに着手する必要がある。

3 目的

誰もが住み慣れた地区で安心して生活し続けるために、住民一人ひとりが主体的に地区に関わり、地区が持つ機能の維持や身近な生活課題の解決に向けた活動が活発化することを目指す。

また、地区づくりの共通の目的を実現するために、地区に住む住民同士や地区と行政がお互いの意見を尊重し合い、対等のパートナーとして連携や協力、役割分担などを行いながら地区づくりを進める。

4 行政の「まちづくり」の基本方針

（1）「自分たちの地区は自分たちで創る」を理念とし、地区の将来像の実現にむけて一人ひとりが「担い手」として主体的に地区の諸課題に取り組み、実践しながら、自主・自立の地区づくりの進展を図る。

目標に、つぎの3点を挙げている。

「地区でできることは地区で」、「あまり行政には頼らない地区づくりを」、「持続可能なまちづくりを」

（2）公民館の役割を担いながら、様々な事業もできる組織、行政から独立した住民主体の組織（地区運営組織）にする。

（3）地区運営組織とは

地区を代表し、地区づくり計画を実践する実効的な行動力を持った、住民主体の組織。即ち課題解決を図るための住民主体の組織である。

5 地区運営組織をつくるにあたって

地区の課題解決に向けて、取り組む組織にするには、どういう組織にすればいいか。若い男性、女性を入れた多くの住民で話し合いが必要。

以上のことを踏まえて

末崎地区としては、**どのようにして「まちづくり」を進めるか**について、協議した。

その結果、**「まちづくり検討委員会」を立ち上げて協議していく**ことにした。

その検討委員会の委員（19名）は、つぎの部門から推薦して頂くことにした。

地区公民館酔長６名

細浦地区（2名）中央地区（2名）碁石地区（2名）

青年部６名

細浦地区（男1名、女1名）

中央地区（男1名、女1名）

碁石地区（男1名、女1名）

各種団体５名

市議会議員から（1名）

末崎町振興会長、末崎町公益会理事長、末崎体育協会長から（1名）

防犯協会長、交通安全協会分会長、消防後援会長、消防団第4分団長から（1名）

老人クラブ会長、婦人会長、民児協会長、助け合い協議会長から（1名）

末崎中学校長、末崎小学校長、末崎こども園長から（1名）

地区公民館２名

地区公民館長

地区公民館主事

これから、19名の委員でまちづくりについての素案（運営組織や組織の名称、規約等）をつくり、全体会に諮って共通認識のもとにまちづくりを進めていく。なお、多くの方々から、特に若い人や女性の意見を聞くための方法等も検討委員会で検討することとした。

獅子舞・権現様・虎舞について11

8 虎舞について

（3） 何時、何処から伝わったのか。（その 2）

次に、「どこから伝わったのか」ですが、これだけたくさんの梯子虎舞が集中しているのは、三陸海岸周辺と千葉県の九十九里浜海岸周辺です。この外にも愛知県や兵庫県、あるいは和歌山県等にも点在しているようですが、わたしは、九十九里浜海岸周辺に着目しました。

九十九里浜海岸周辺との繋がりは、二つのルートが考えられます。一つは海路を通しての交流であります。

千葉県の銚子港は、東北から江戸へ米や海産物を送る際の中継港として江戸時代に大きな役割を果たした所で、三陸海岸の廻船も頻繁に出入りしています。したがって、この地域の、郷土芸能や文化も、持ち帰った可能性があります。

もう一つは、葛西家の家臣のルートであります。豊臣秀吉に葛西晴信が滅ぼされるまでは、気仙地域は葛西晴信の領地でありました。葛西家は、源頼朝が旗揚げして石橋山で一敗地にまみれ、房総に逃げ込んだ時、頼った千葉介常胤の支族で、千葉姓の者や房総出身の者が沢山いたようです。

現に気仙に最初に入った葛西家の家臣は、本吉郡馬籠城の千葉忠広の次男、広胤で矢作村の鶴崎城に正和 4 年(1315)に入っています。したがって気仙は、特に陸前高田市内の城主は千葉性が多くみられます。

このことから、九十九里浜海岸周辺の梯子に登る獅子舞から、平組はしご虎舞の原形が生れたのではないかと考えた次第です。その外修験者や山伏、あるいは伊勢や熊野の「御師」たちの可能性もあります。（紀）

北之幸谷
の獅子舞
千葉県無形文化財指定

千葉県東金市「北之幸谷獅子舞」
（九十九里浜付近）

★大田公園に遊具設置

このたび、NTTドコモグループ様からの寄附により大田公園に遊具が設置になりました。

NTTドコモ様は、東日本大震災などの被災地を支援するため、「災害復興等応援社員募金」制度を設けおり、取り組みに賛同した社員から募金を集め、それと同額を会社が上乗せして寄附を行っています。

末崎町内には遊具のある公園・広場がなかったことから、大変ありがたく思います。

遊具設置後は、小河原地域のみならず、末崎町内の子供たちの遊び場であり、交流の場となるものです。遊具は大切に使わさせて頂きます。

設置された遊具は、3種類5台です。

2連ブランコ（1台）

ツイストモック（1台）

アクションコム（3台）

★令和5年度の地域公民館長はつぎの方々です。

船河原	藤田一彦
峰岸	熊谷猛
細浦	高橋雄一
神坂	紀室浩
中野	高橋隆哉
小細浦	菅原健吾
平	金野一郎
平南団地	熊谷信弘
小田	後藤雄志
梅神	細川和洋
小河原	尾形眞二
門之浜	佐藤重夫
中井	菅原悟
西舘	及川宗夫
碁石	大和田勇
三十刈	熊谷健悦
山根	菅野一

※宜しくお願い申し上げます。